

## 第4回止めねじ J I S 改正原案作成委員会議事録 (案)

1. 日 時：平成25年12月12日 (木) 14:00～17:00
2. 場 所：機械振興会館6階62号室
3. 出席者 (順不同・敬称略)

氏 名	所 属	氏 名	所 属
熊倉 進	元神奈川大学 (委員長)	多田 章久	(株) 東工舎金属製作所
木田 秀樹	(株) 互省製作所 (幹事)	永井 彰	(株) 永井精密螺子製作所
松井 洋二	経済産業省	大磯 義和	日本ねじ研究協会
古田 光	日産自動車 (株)	中林 賢司	日本ねじ研究協会
洞下 泰成	旭産商 (株)		

## 4. 配付資料

資料 12 第3回止めねじ J I S 改正原案作成委員会議事録 (案)

資料 13 JIS B 1053 炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質—第5部：引張力を受けない止めねじ及び類似のねじ部品(第4次案)

資料 14 ISO / TC 2 / SC 1 (締結用部品の機械的性質) インディペンデンス会議出席報告

資料 15 ISO / TC2 / SC 1 N627 (ISO / DIS 898-5)

資料 16 表3—機械的性質及び物理的特性 (抜粋) (古田委員提出)

資料 17 JIS B 1053 炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質—第5部：引張力を受けない止めねじ及び類似のねじ部品 {第4次案 (加筆修正版)}

資料 18 “performance hardness” の日本語訳提案 (根本委員提出)

## 5. 議事

## 5.1 前回議事録の確認 (資料 12)

- ・2頁目の2行目，“浸炭効果”の“効果”を“硬化”に修正して確認された。

## 5.2 JIS B 1053 改正第4次案の審議 (資料 13～18)

## 1) 1 規格名称

- ・2行目，“÷”を削除する。
- ・英文名称の2行目の文頭の“—”を英文名称の1行目の文末の後に移す。

## 2) 2 引用規格

- ・JIS B 0209-3を削除する。

## 3) 3, 用語及び定義

- ・1行目，“次による”の前に“JIS B 0101によるほか”を挿入する。
- ・3.7のタイトルを“硬さ”に修正する。また、本文を“ねじ先の軸心にできるだけ近いねじ先端面で求められる硬さ。”に修正する。

## 4) 4 用語及び意味

・“D”は、一般には、めねじの呼び径を示すので、混乱を避けるために他の記号に変更できないか検討する。

#### 5) 6 材料

・表2，注<sup>①</sup> ニッケルの最小含有量を“0.30%”に修正する。

#### 6) 7 機械的及び物理的性質

・表3，NO. 1の“硬さ”欄を削除する。

・8.1～8.3の記述をJIS B 1051の記述を参考に修文する。

#### 7) 9 試験方法

・9.1.1 a)及びb)，文末を“こと”止めにしない。

・9.1.2のタイトルを“硬さ”に修正する。

・9.1.2.3 1行目，“できるだけ”を“軸心”の前に移す。

・9.1.2.3 下から3行目，“硬さ試験は，表3の規定による。”を“ブリネル硬さの試験力は，表3による。”に修正する。

・9.1.3のタイトルを“表面硬さ”に修正する。

・脱炭試験の箇条番号を9.2に修正する。

・9.2 注記，“決定する”は“求める”ではないかとの意見があり，再チェックする。

・箇条番号9.1.2を9.2.2へ修正する。

・箇条番号9.1.2.2を9.2.2.2へ修正する。

・9.2.2.3の1行目，“特別の協定がない”を削除し，“受渡当事者間での特別な協定がない”を復活する。

・表4の数値が小数点以下3桁まで必要である理由を解説で触れる。

・箇条番号9.1.3を9.2.3に修正する。

・箇条番号9.2を9.3に修正する。

・12頁 3行目，“9.2.3.3”となっているが，“9.2.2.2”である可能性があるのでチェックする。

・9.3.3.4 1行目から2行目，“大きい値に等しいか，それより小さい値”を“大きい値{HV(1)+30}以下”に修正する。

・図4，試験ブロックの説明文中の“HRC50”を“50HRCに修正する。

・9.4.2 1行目，“面一”を“同一面”に修正する。

#### 8) 10 表示

・10.3 1行目，“もし”を“ただし”に修正する。

#### 6. その他

##### 1) 今後の進め方

・今回で対面審議を終了し，審議結果を整理した最終案を書面審議にかける。なお，書面審議前でもコメントがあれば事務局に提出する。

以上